

科目名		コミュニケーション論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	前期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

理学療法士において、コミュニケーション能力は患者さん治療において、一番大切であり、原点である。医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を理解し、信頼関係の確立に役立つ能力を身に付ける。

〔授業全体の内容の概要〕

講義、グループワークで行い、実技につなげる。

〔講師の実務経験〕

兵庫県立のじぎく療育センターにて29年間小児理学療法に理学療法士として従事した。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

コミュニケーションの方法と技能を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことが出来る。

回数	講義内容
1	コミュニケーションとは
2	コミュニケーションスキル
3	グループワーク(なぜコミュニケーション能力が必要か。それを得るためには何が必要か)
4	グループワーク(なぜコミュニケーション能力が必要か。それを得るためには何が必要か)
5	マナー講座
6	マナー講座
7	マナー講座
8	マナー講座
9	マナー講座
10	コミュニケーションの実践
11	コミュニケーションの実践
12	コミュニケーションの実践
13	コミュニケーションの実践
14	医療面接実技
15	医療面接実技
	実技試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

成績は、実技試験にて判定